



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社  
コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部本部長 (氏名) 吉田 邦夫

TEL 046-221-2311

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,480	7.4	648	27.7	1,236	7.5	937	9.8
2022年3月期第3四半期	4,171	0.4	896	7.1	1,150	81.4	853	131.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,674百万円 (60.6%) 2022年3月期第3四半期 1,042百万円 (529.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	86.38	
2022年3月期第3四半期	78.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	18,413	10,488	55.2
2022年3月期	17,038	8,923	50.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,161百万円 2022年3月期 8,656百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				10.00	10.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	0.3	800	26.5	800	45.4	500	54.4	46.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	10,937,449 株	2022年3月期	10,937,449 株
2023年3月期3Q	80,519 株	2022年3月期	80,419 株
2023年3月期3Q	10,856,985 株	2022年3月期3Q	10,857,265 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が持続する中で、行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進み、持ち直しの動きがみられました。

一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギーや原材料価格の上昇、各国の中央銀行による利上げにより景気後退への懸念が継続しました。

当社グループはさまざまなコストアップを受けるとともに、円安の影響等により、当第3四半期連結累計期間において売上高は4,480百万円(前年同四半期比7.4%増)、営業利益は648百万円(前年同四半期比27.7%減)、営業外収益を為替差益611百万円計上し、経常利益は1,236百万円(前年同四半期比7.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は937百万円(前年同四半期比9.8%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア事業

ヘルスケア事業の国内売上は軟調に推移しましたが、9月に上市した新商品のサガミオリジナル0.01(ゼロゼロワン) ラージの今後の販売動向が注視されます。また、海外売上ではサガミオリジナルシリーズが継続して伸長しているものの、マレーシア工場の原価アップが影響し、利益を圧迫しました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は3,343百万円(前年同四半期比6.4%増)、営業利益は948百万円(前年同四半期比17.6%減)となりました。

#### ② プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、販売価格の見直しで、売上高は伸長したものの、原油価格の高止まりによるエネルギーや原材料価格の大幅な上昇により、販売価格への転嫁が追いつかず、増収減益となりました。

この結果、売上高は967百万円(前年同四半期比11.4%増)、営業損失は6百万円(前年同四半期は営業利益50百万円)となりました。

#### ③ その他

入浴・介護サービス及びその他の事業の売上高は169百万円(前年同四半期比5.5%増)、営業損失は47百万円(前年同四半期は営業損失50百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金や建物及び構築物並びに機械装置及び運搬具の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,375百万円増加し、18,413百万円となりました。

負債合計は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ190百万円減少し、7,924百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,565百万円増加し、10,488百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は4.4ポイント増加し、55.2%(前連結会計年度末は50.8%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月19日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値を据え置くことといたしましたが、為替動向を注視しつつ、今後の業績推移に応じて修正の必要性が生じた場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,531,378	874,419
受取手形及び売掛金	1,011,323	1,426,304
電子記録債権	884,334	1,223,886
棚卸資産	1,931,057	2,295,897
その他	239,382	116,964
貸倒引当金	△32,201	△22,684
流動資産合計	5,565,276	5,914,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,687,382	4,215,743
減価償却累計額	△1,604,454	△1,704,827
建物及び構築物(純額)	2,082,928	2,510,915
機械装置及び運搬具	11,898,585	13,411,833
減価償却累計額	△4,504,961	△5,356,598
機械装置及び運搬具(純額)	7,393,624	8,055,234
土地	1,056,771	1,077,914
建設仮勘定	140,839	6,850
その他	262,954	289,364
減価償却累計額	△202,199	△214,717
その他(純額)	60,755	74,646
有形固定資産合計	10,734,919	11,725,561
無形固定資産	13,392	12,611
投資その他の資産		
投資有価証券	465,140	535,756
繰延税金資産	159,187	133,398
退職給付に係る資産	7,336	2,624
その他	95,524	90,805
貸倒引当金	△2,215	△1,910
投資その他の資産合計	724,973	760,675
固定資産合計	11,473,285	12,498,847
資産合計	17,038,562	18,413,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	262,037	225,543
電子記録債務	243,081	303,760
短期借入金	5,281,773	5,520,347
未払法人税等	155,359	110,731
前受金	32,483	46,939
賞与引当金	76,926	37,960
その他	329,833	382,367
流動負債合計	6,381,494	6,627,651
固定負債		
長期借入金	1,216,834	776,634
長期預り保証金	3,100	2,000
退職給付に係る負債	90,698	81,098
役員退職慰労引当金	417,157	432,075
資産除去債務	5,390	5,390
その他	837	-
固定負債合計	1,734,017	1,297,199
負債合計	8,115,511	7,924,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	676,518	676,518
利益剰余金	7,998,472	8,827,757
自己株式	△35,879	△35,958
株主資本合計	9,186,547	10,015,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,525	239,604
為替換算調整勘定	△722,379	△93,891
その他の包括利益累計額合計	△529,854	145,712
非支配株主持分	266,357	327,318
純資産合計	8,923,050	10,488,784
負債純資産合計	17,038,562	18,413,634

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	4,171,204	4,480,591
売上原価	2,414,085	2,918,243
売上総利益	1,757,119	1,562,348
販売費及び一般管理費	860,989	914,010
営業利益	896,129	648,337
営業外収益		
受取利息	1,065	1,441
受取配当金	16,473	18,861
為替差益	242,156	611,059
作業くず売却益	6,611	6,499
助成金収入	7,590	4,530
その他	13,709	9,987
営業外収益合計	287,606	652,379
営業外費用		
支払利息	29,559	57,627
持分法による投資損失	3,724	6,140
その他	0	11
営業外費用合計	33,283	63,779
経常利益	1,150,452	1,236,937
特別利益		
固定資産売却益	26	246
特別利益合計	26	246
特別損失		
固定資産除売却損	471	86
特別損失合計	471	86
税金等調整前四半期純利益	1,150,008	1,237,097
法人税等	283,400	275,804
四半期純利益	866,608	961,293
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,657	23,438
親会社株主に帰属する四半期純利益	853,950	937,855

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	866,608	961,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,972	47,079
為替換算調整勘定	188,594	660,149
持分法適用会社に対する持分相当額	2,031	5,861
その他の包括利益合計	175,652	713,089
四半期包括利益	1,042,260	1,674,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,019,024	1,613,422
非支配株主に係る四半期包括利益	23,236	60,960



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。